

松永学区まちづくり計画

みんなで作ろう 住みよい まつなが



まつなが見守り隊



けまもりんごちゃん♪

2015年（平成27年）3月
松永学区まちづくり推進委員会

目 次

| | |
|------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| 1 学区の概要 | 2 |
| 2 学区の現状と課題 | 4 |
| 3 まちづくり計画 | 6 |
| (1) まちづくり基本計画 | 6 |
| (2) 事業計画 | 7 |
| (3) 推進体制 | 9 |
| (4) 目標年次 | 9 |
| (5) 事業の見直し | 9 |
| 4 まちづくりの具体的展開 | 10 |
| (1) 子どもの健全育成 | 10 |
| (2) 環境の改善・美化 | 11 |
| (3) 活かにみちた まちづくり | 12 |
| (4) 福祉の充実 | 13 |
| (5) 安心・安全な環境整備 | 14 |
| 5 資料編 | 15 |
| (1) まちづくりアンケート集計 | 15 |
| (2) まちづくりアンケート記述意見 | 21 |
| (3) まちづくり児童アンケート | 24 |
| (4) 松永学区まちかどウォッチング（地図） | 26 |
| (5) 計画策定までの経緯 | 27 |
| (6) 名簿 | 29 |

はじめに

松永学区では2006年(平成18年)から始まった協働のまちづくり「地域まちづくり事業」「キーワードモデル事業」に継続的に取り組み、一定の成果を収めてまいりました。ただそれらの事業が学区みんなのものになっていたのかという点決して十分とは言えない状況であったと思います。そんな中、東日本大震災や昨年の広島土砂災害など各地での大災害も目の当たりにし、地域のつながりがいかに大切かを教えられました。

全国的に少子高齢化が進み、人間関係が希薄化するなど、地域社会が大きく変化しておりますが、松永学区においても例外ではありません。自分たちの住む「まつなが」を「もっとよいまちにしたい、今後もこのまちに住んでいきたい」という思いはみんなの願いです。地域の状況や課題を一番知っているのはこの地域に住む私たち地域住民です。私たちが住むこの「まつなが」がどんなまちであって欲しいのか、どんなまちにしたいのか、自分たちの住む地域の現状と課題や目指すべき将来像をみんなで出し合い、将来への道筋や解決方法をみんなで取りまとめ、みんなで取り組んでいく「活動の柱」が必要になってまいりました。そこで、みなさんの意見をお聞きするため、まちづくりアンケートを実施いたしました。その結果や今までのまちづくり交流会で出された意見なども参考にしながら、まちづくり計画策定委員会は何回ものワーキング会議を重ね、「松永学区まちづくり計画」を策定いたしました。この計画により地域に住むみなさん一人ひとりが考えていた課題や目標を共有し、地域全体で取り組むものとなればと考えております。また、役員の交代により、問題点の把握や事業の引継ぎが困難になるといった問題が起こった場合にも、この計画がこれからどんな事業を実施していくかの指針となるものと考えています。

私たちのまち「まつなが」が住んでよかった、今後も住み続けたいと思えるまちになるようお子様からお年寄りまですべての学区民が心のふれあいを大切に支えあいながら暮らせることを願っています。

この計画書の趣旨をご理解いただき、まちづくりに積極的に参画していただきますようお願いいたします。

おわりになりましたが、まちづくりアンケートにご協力いただきました学区民のみなさま、資料の提供・貴重なご意見をいただきました関係者のみなさまに厚くお礼を申し上げます。

2015年(平成27年)3月

松永学区まちづくり推進委員会

1 学区の概要

松永学区は福山市西部に位置する松永町，南松永町からなる，世帯数 4,985 世帯，人口 11,037 人（2014 年(平成 26 年)3 月末)の学区です。

学区は，本郷川河口左岸および松永湾に面した平野にあります。東には丘陵があり，羽原川が流れています。以前は塩や木材運搬に使われた入川が町の中を縦横に何本も流れていましたが，現在では，そのほとんどが遊歩道や緑地として整備され，住民の憩いの場となっています。一部は「クリーク」としてその名残を今にとどめています。

また，学区北側には山陽本線が東西に走り，国道 2 号線，山陽自動車道等も近く，住宅地域，商・工業地域が混在する町として発展しています。

松永町の前身である松永村は塩田の開発に伴って成立しました。1660 年(万治 3 年)，本庄重政が神村・柳津両村沖の干拓事業に着手し，1667 年(寛文 7 年)には，塩田工事も終わり，幕府の許可を得て「松永」と命名しました。これは，この地が神村の松崎の地先であったことと「松寿永年(しょうじゅえいねん)」にちなんで命名されたと伝えられています。松永新涯には長和島，神島，本郷島，徳島，今津島，西島(稻荷島)，小代島の 7 つの島が造られ，今もその地名が残っています。塩田がほぼできあがると，ここに住居を移す者が多くなり，塩田の町となりました。

その後，1871 年(明治 4 年)には福山県，以後，深津県，小田県，岡山県を経て，1876 年(明治 9 年)広島県に所属することになりました。1891 年(明治 24 年)，山陽鉄道(現山陽本線)が開通し，松永駅ができました。鉄道の開通に伴い，1897 年(明治 30 年)にはそれまで船で運んでいた塩の輸送を鉄道で行うようになりました。1900 年(明治 33 年)には町制施行により沼隈郡松永町となりました。



塩田での海水撒き作業



下駄の乾燥作業

1954 年(昭和 29 年)には松永市が誕生し，松永市松永町となりました。1957 年(昭和 32 年)松永塩田は流下式転換工事が完成しましたが，1960 年(昭和 35 年)第 3 次塩業整備により塩製造は廃止となりました。そして，1966 年(昭和 41 年)，福山市との合併により福山市松永町となり，現在に至っています。

また、松永は塩田と並び下駄の町としての歴史も古く、1878年(明治11年)頃、丸山茂助、加藤助次郎らが、桐材で下駄の製造を始めました。明治中頃には、下駄の原料として油木(あぶらぎ)を使用していましたが、1900年(明治33年)になって北海道の栓材を移入したところ生産性が向上しました。さらに明治末から機械化が進み、生産量が増えていきました。1934年(昭和9年)には仕上げ部門も機械化され、県内産の杉や松を原料として使用するようになったこともあり、生産量は急激に増加しました。しかし、生活様式の変化とともに、次第に衰退していきました。

参考：角川日本地名大辞典(角川書店)



塩田風景



下駄の原木運搬



2 学区の現状と課題

松永学区まちづくり推進委員会では今まで様々な事業を展開して参りました。その中で感じられることは必ずしもそれぞれの事業が学区民全体のものとなっていないことではないでしょうか。

それは事業に対する情報不足も一つの要因ではありますが、地域社会における人間関係の希薄化やコミュニケーション不足が大きな要因と思われます。

福山市全体ではすでに人口の減少傾向が見られるにもかかわらず学区の人口はまだ増加傾向にあります。これは松永学区のほとんどが塩田の跡地に造られた比較的新しいまちであることやJR松永駅や山陽自動車道の福山西インターチェンジなど交通アクセスの比較的便利な位置にあって他地区からの転居によるものです。このことは町に活性化をもたらす大きな要因ではありますが、人間関係を希薄化する要因にもなり得るものです。



子どもの見守り活動

加えて、近時の松永みなと大橋や松永西踏切跨線橋の開通は現在の車社会にあって大変便利で快適になった反面、通過車両も含め交通量は増大し、悲しい交通事故や犯罪の発生の可能性を高めています。

また、防災面では東に羽原川、西に本郷川、南に松永湾を抱えていますが、そのほとんどが海拔数メートルの低地に位置しています。豪雨に対応できる雨水排水施設は整備されつつあるとはいうものの、とりわけ最近の集中豪雨や危惧されております東海・東南海・南海地震による津波に対応できるものではありません。

これらのことを考えると今後は公共サービスだけでは対応できない様々な課題が浮かび上がってきます。地域で安心して住める環境を創造するためにも地域社会のつながり・結びつきがいかに大切かを認識・定着させる必要性を感じるものです。



自主防災訓練

次頁からも明らかなように子どもたちや高齢者・障がい者を含め学区民みんなが安心して安全なまちづくりを望んでいます。自治会を中心とした各種団体が今まで培ってきた経験や実績を生かすとともに連携をより深めながら地域住民の得意分野を生かすボランティア、さらには地域の企業、在住外国人とも手を取り合って今後の活動を進めていく必要があります。

～アンケート調査から見えてくるもの～

利永の住みやすさについては、「利便性」を挙げる方が最も多く回答者の38%を占めています。「近所づき合い」や「道路交通環境」の充実については、回答者が生活する地域、年代等によって評価が分かれます。

安心・安全なまちづくりでは、「子どもや高齢者の交通事故防止の啓発活動」や「安心して通学できる環境づくり」の充実を望む方が回答者の51%に上ります。また、「避難行動要支援者(災害時要援護者)の避難支援体制の構築」「隣近所の絆を深めるための啓発活動」がそれぞれ16%です。交通安全対策に取り組むとともに、災害発生時にどう対応するかを想定したまちづくりや日頃から声をかけあい支えあう隣近所のつながりづくりが求められています。

子どもの健全育成で力を入れることとして、「不登校・いじめ等への目配り、心配り」「地域ぐるみで子どもを育てる支援活動」「子どもの居場所づくり」を挙げる方が65%に上り、未来の担い手である地域の子もたちは地域で育てるという意識が高いことが分かります。

高齢者の日常生活については、「急病・けが等があったときの不安」「災害時に自分だけでは避難できない」という緊急時対応に多くの方が強い不安を感じています。また、「知り合いが少なく毎日が不安である」「高齢者が気軽に集まれる場所が少ない」など日常的な不安や人と人のつながりを求める声も切実です。さらに、「自分で身の回りのことができない」「通院・買い物等が不安である」といった日常生活への支援を必要とする方もいます。

美しいまちづくりでは、「犬、猫の糞の処理」や「道路・溝・公園の清掃」への取り組みが必要だと感じている方が68%で、多くの方が美しいまち「まつなが」の実現を願っています。

まちづくり推進事業については、63%の方が何らかの事業に参加しています。不参加者の理由として、「忙しい」を挙げる方が33%で一番多くなっています。また、「事業の内容を知らない」「日程が分からない」「場所が分からない」などを挙げている方を合わせると32%であることから、周知の方法を工夫する必要があります。

まちづくり計画を推進していくには、人材育成が喫緊の課題ですが、まちづくり推進事業の「運営に積極的に協力できる」「依頼があれば運営の手伝いができる」「運営に協力したいが関わり方が分からない」と回答した方が29%あり、新しい人材として期待できます。また、人材確保の方法については、「ボランティアの募集」が圧倒的に多く61%であることから、ボランティアの積極的な活用方法を考え、参画型まちづくりを推進し、活性化につなげていく必要があります。

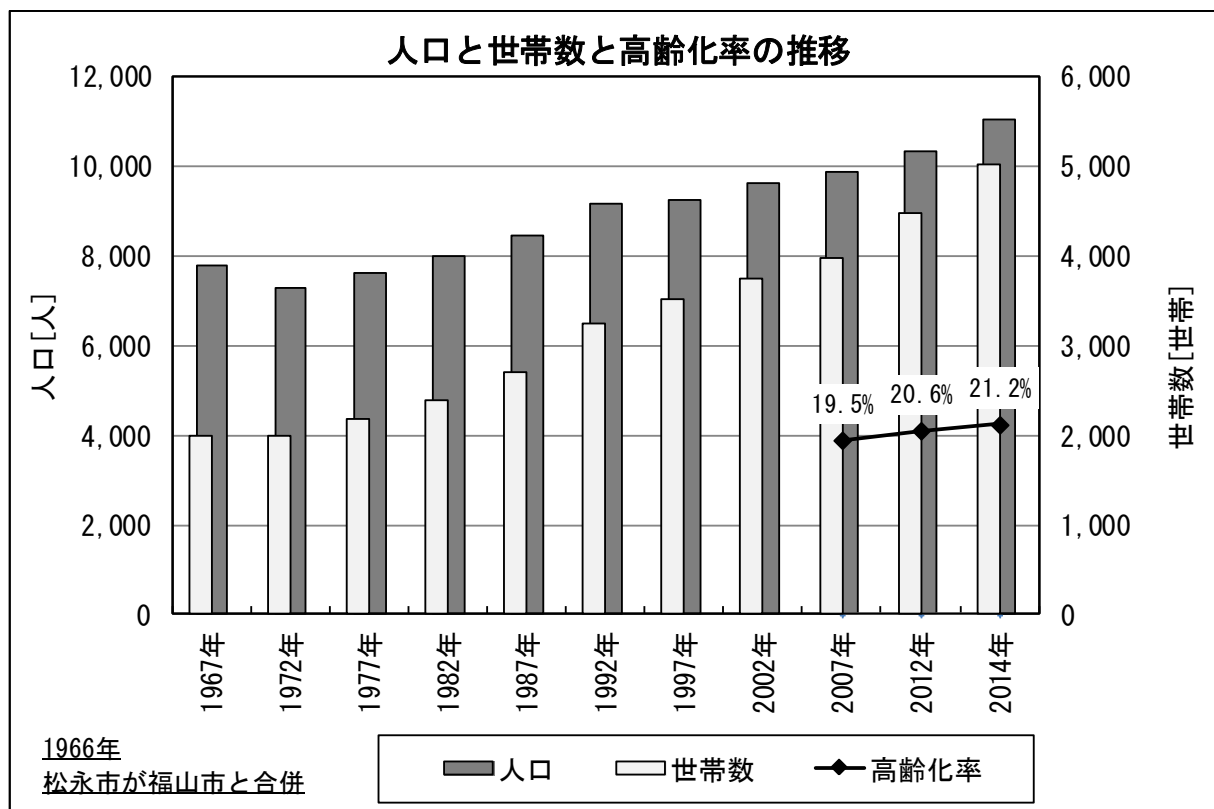


まちづくり知ってよ！説明会

これからのまちづくりでは、「高齢者・障がい者の支援」19%、「子育ての支援」15%「健

康づくり」13%と、少子・高齢化の課題に力を入れて取り組むことが求められています。また、「防犯対策」14%「防災対策の充実」13%「交通安全対策」12%で安心・安全まちづくりのキーワードです。

松永学区の人口、高齢化率の推移



3 まちづくり計画

(1) まちづくり基本計画

現在、少子高齢化・核家族化・人口減少化が進むなど社会環境等の変化により、以前は家族や地域社会でカバーしていた子育てや介護・防犯・防災などが新たな地域課題となってきました。また、画一的な行政サービスだけでなく「地域の実情に即したサービスがほしい」との声もあがっています。

このような状況の中で、自分たちの地域に関わることは、地域を一番よく知る自分たちで判断し、できるものは自ら行う。そのうえで、必要に応じて行政やその他の団体とともに取り組むことができれば、地域に愛着が持てる「まちづくり」ができるのではないのでしょうか。

ごみがあれば集めてくれる、蛇口をひねれば水が出てくるなど、生活環境が整備され、必

要最低限のサービスが提供されるようになったこともあり、「地域のつながりなんていらない」「地域の活動に必要性を感じない」「めんどくさいだけ」と思っている人もいます。はたしてそうなのでしょうか。地震・土砂・浸水災害などで被災し、ライフラインが遮断された状況のもと、まず機能したのはご近所同士の支えあい・地域のつながりでした。そのつながりが強い地域ほどその後の復興も早くなっています。そうした非常時のみならず子どもを狙った犯罪・事故、高齢者の孤独死など、近所・地域のつながり、見守り・支えあいで防げるものはたくさんあります。

みんなで「支えあうまちづくり」は、私たちが地域で安心して心地よく暮らしていくための可能性を秘めています。

行政的にも社会保障費は年々増加しておりますし、今までどおりの行政サービスが期待できるとは限りません。今後、「持続可能なまちづくり」を確実に進めていくためにも自主・自立したまちづくりを進めていくことが必要です。

これまで地域に住む一人ひとりが考えていたことを具体的に取りまとめ、地域の現状や課題を共有し地域全体として取り組みたいと考えています。

(2) 事業計画

松永学区まちづくり推進委員会は、まちづくりアンケートなどで出された意見や課題を踏まえ、① 学区民の絆の強化 ② 高齢者・障がい者福祉の充実や健康づくり ③ 防災・防犯・交通事故対策等の安全施策 ④ 子育て支援 ⑤ 人材育成 を重点に、次の分野ごとに自治会連合会をはじめ各種団体がその垣根を越え、緊密な連携を図りながら事業を進めてまいります。

ア 教育

あいさつ運動、見守り活動、子どもたちの居場所づくりに取り組み、子どもたちの笑顔があふれ、ふるさとに誇りを持ち心豊かに成長できる「まつなが」のまちづくりに努めます。

イ 環境

ごみのポイ捨て、犬猫の糞の処理などの身近な問題やごみの減量化、資源の再利用など持続発展可能な社会づくりに貢献する美しい「まつなが」のまちづくりに努めます。

ウ 活力

伝統行事や現行行事の活性化を図るとともに、多種多様な学習会なども重ねながら住民同士の絆を強め、住んでよかった・これからも住み続けたいと思える「まつなが」のまちづくりに努めます。

エ 福祉

高齢者や障がい者の社会参加，生きがいのづくりに取り組むとともに子どもたちを安心して育てられるような子育て支援を行ってまいります。また，健康増進に努め，豊かに健やかで生き生きと暮らせる「まつなが」のまちづくりに努めます。

オ 安心・安全

交通事故や犯罪を未然に防ぎ，安全で安心した暮らしができるよう関係機関と連携して事故防止や防犯意識の啓発に努めます。また災害時に備え，だれもが安心して暮らせるよう防災訓練なども実施し，防災意識の高揚を図り，安心・安全な「まつなが」のまちづくりに努めます。

活 動 の 状 況



下駄踊りの継承



おじいちゃんといっしょ 夏休みわくわく教室



高齢者配食サービス



ウォーキング大会



スマイルキッズまつなが



学区民文化祭

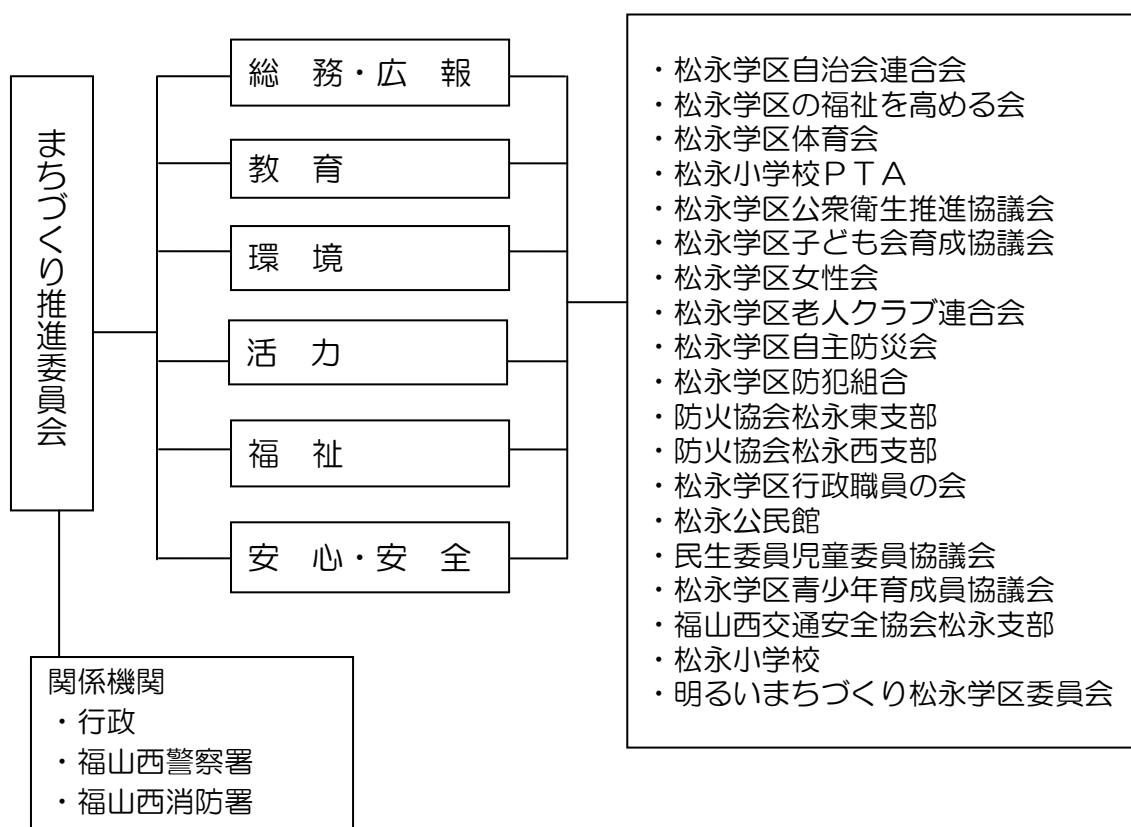
(3) 推進体制

これらの計画を具体的に実行していくために、住民ぐるみの活動となるよう個々の住民の主体性を期待することはもちろんであります。これまで中心的に活動を進めてきた各団体のノウハウを生かしていくためにもテーマごとに推進の核となる団体を中心（主管）となって事業を推進していくものとします。ただ、事業活動が住民全体のものと認識するうえからも団体、住民それぞれが緊密な連携・協力をしながら活動を推進していく必要があります。

そのためには、住民全体がまちづくりの役割や関心を高めるための情報の共有や周知が必要であります。そうした中から新たな人材やボランティアの育成が期待されるものと思われま

す。また、まちづくり活動は住民主体で進めるとは言っても、行政の指導・支援は不可欠なものであり緊密な連携を図りながら、必要に応じて協働で取り組むものとします。

【 組織図 】



(4) 目標年次

この計画は2015年度（平成27年度）を初年度とし、2024年度（平成36年度）までの10年間とします。ただし、概ね短期目標は3年、中期目標は5年とします。

(5) 事業の見直し

活動の成果を適宜評価するとともに、住民ニーズを的確にとらえ、必要に応じて実効性のあるものに見直していくものとします。

4 まちづくりの具体的展開

子どもの健全育成

～ 地域で育てよう 未来の担い手「まつながっ子」 を ～

◇ 基本的な視点

- ① あいさつ運動，見守り活動，子どもの居場所づくりに取り組み，子どもたちの笑顔あふれるまち「まつなが」をめざして，地域ぐるみで子どもを育てる支援活動に努めます。
- ② 子どもたちがふるさとに誇りをもち，心豊かに成長できるまち「まつなが」をめざして，地域文化の継承に努めます。

◇ 主な事業の展開方向

| キーワード | 事業の展開方向 |
|-------|--|
| ふれあい | <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な見守り活動，あいさつ運動に取り組み，子どもの健全育成に努めます。 ・子ども体験教室を開催し，子どもの居場所づくりに努めます。 ・きれいなまちプロジェクトを推進し，子どもの地域活動参加，ボランティア意識の向上に努めます。 |
| ふるさと | <ul style="list-style-type: none"> ・「下駄」「塩田」など「まつなが」の歴史に触れる活動に取り組み，ふるさとへの愛着，誇りを育み，地域文化の継承に努めます。 |

◇ 具体的な事業と役割分担およびスケジュール（○は事業開始時期 →は既に実施中）

| 事業種目 | 具体的な事業名 | 役割分担 | | スケジュール | | |
|--------------|----------------------------|-------|----|--------|----|----|
| | | 主管団体 | 協働 | 短期 | 中期 | 長期 |
| スマイルプロジェクト | あいさつ運動 | 自治会 | | | | → |
| | まつなが見守り隊の充実 | 防犯組合 | | | | → |
| | 体験教室 | まちづくり | | ○ | | → |
| きれいなまちプロジェクト | 子どもボランティア募集 | まちづくり | | ○ | | → |
| | 子ども会議の実施 | まちづくり | | ○ | | → |
| | 公園「530」 ^{ゴミゼロ} 作戦 | まちづくり | | ○ | | → |
| ふるさとプロジェクト | 下駄おどり継承事業 | 女性会 | | | | → |
| | ふるさとたんけん | まちづくり | | ○ | | → |
| | 「まつなが」サミット | まちづくり | | ○ | | → |

環境の改善・美化

～ 子どもたちの未来に 美しいまち「まつなが」を ～

◇ 基本的な視点

- ① ごみのポイ捨て、犬猫の糞の処理問題など身近な問題に取り組み、美しいまち「まつなが」、誇りに思えるまち「まつなが」をめざして、快適な環境づくりに努めます。
- ② ごみの減量化、資源の再利用等、私たちに今「できること」から取り組み、持続発展可能な社会づくりに努めます。

◇ 主な事業の展開方向

| キーワード | 事業の展開方向 |
|--------------|---|
| 環境美化意識の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみやたばこのポイ捨て問題に取り組み、道路、川、公園のごみ「0」に努めます。 ・犬や猫の糞が適切に処理されるよう、飼い主へのマナー啓発に努めます。 ・花いっぱいのもちづくりに努めます。 |
| 持続可能な社会への第一歩 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別、資源の再利用等について啓発活動を実施し、環境問題への意識向上に努めます。 |

◇ 具体的な事業と役割分担およびスケジュール（○は事業開始時期 →は既に実施中）

| 事業種目 | 具体的な事業名 | 役割分担 | | スケジュール | | |
|-------------|------------|-------------|----|--------|----|----|
| | | 主管団体 | 協働 | 短期 | 中期 | 長期 |
| ごみポイ捨て「0」 | ポイ捨て実態調査 | 公衆衛生推進協議会 | | ○ | → | → |
| | パトロールと回収 | 公衆衛生推進協議会 | | | | → |
| | ポスター等の設置 | 公衆衛生推進協議会 | | | | → |
| | 道路、公園の清掃活動 | 自治会・公衛協 | | | | → |
| クリーンまつなが | 飼い主のマナー啓発 | 自治会・公衛協 | | | | → |
| | 小動物ふれあい事業 | 自治会・公衛協 | 行政 | | ○ | → |
| 花いっぱいまつなが | 花づくり応援隊 | まちづくり | 行政 | ○ | | → |
| | 花づくり運動 | まちづくり | 行政 | | | → |
| ゴミゼロ530まつなが | 研修会実施 | 自治会・公衛協・女性会 | 行政 | | | → |
| | ポスター等の設置 | 自治会・公衛協・女性会 | | | | → |
| | 資源再利用推進 | 自治会・公衛協・女性会 | 行政 | | | → |

活力にみちた まちづくり

～ 人とにぎわいのあふれるまち 「まつなが」 ～

◇ 基本的な視点

- ① 住民同士のきずなを強め、住んでよかった・これからも住み続けたいと思えるまちとなるよう、諸事業・行事を計画し、積極的に参画できる人づくり・まちづくりに努めます。
- ② 伝統行事の活性化と人づくりに資した活動に努めます。
- ③ 住民ニーズや生きがいに応えた多種多様な学習会の充実に努めます。

◇ 主な事業の展開方向

| キーワード | 事業の展開方向 |
|-------------------|---|
| 活力に満ちたまち ・人づくり | ・伝え受け継がれた伝統的な祭り，子どもの行事の継承と地域の活性化，絆づくり，人づくりに努めます。 |
| だれもが参加できる行事の充実・実施 | ・年齢や性別に関係なく参加できる行事の実施に努めます。 ・学習成果や芸術作品の発表など住民に親しんでもらえる文化祭の充実に努めます。 |
| 皆が集える場の確保と維持管理 | ・見直しが進む公共施設（公園・緑地を含む）の在り方へ積極的に関わります。 |

◇ 具体的な事業と役割分担およびスケジュール（○は事業開始時期 →は既に実施中）

| 事業種目 | 具体的な事業名 | 役割分担 | | スケジュール | | |
|----------|-----------------|----------|----|--------|----|----|
| | | 主管団体 | 協働 | 短期 | 中期 | 長期 |
| 伝統行事 | まつり（歴史を学ぶ） | 自治会 | 行政 | | | → |
| | 子どもの行事 | 子ども会・PTA | | | | → |
| | 下駄おどり | 女性会 | | | | → |
| 各種スポーツ大会 | 学区民運動会 | 体育会 | | | | → |
| | 種目別(ソフト・バレー等)大会 | 体育会 | | | | → |
| | グラウンドゴルフ大会 | 体育会 | | | | → |
| 文化行事 | 文化祭 | まちづくり | 行政 | | | → |
| | まちづくり交流会 | 人推協 | 行政 | | | → |
| | 各種学習会 | 各団体 | 行政 | | | → |
| 世代間交流事業 | 昔の遊び等での交流 | 福祉を高める会 | | | | → |
| 人材の育成 | ボランティア登録 | まちづくり | | ○ | | → |
| 集う場所の確保 | | 自治会 | 行政 | ○ | | → |

福 祉 の 充 実

～ つながり 支えあうまち「まつなが」を ～

◇ 基本的な視点

- ① 高齢者や障がい者の社会参加，生きがいにづくりに取り組み，心豊かに暮らせるまち「まつなが」，安心して暮らせるまち「まつなが」をめざして，高齢者，障がい者の支援に努めます。
- ② 次世代を担う子どもたちを安心して育てられるよう子育て支援活動に取り組み，安心して子育てができるまち「まつなが」をめざして，子育て環境づくりに努めます。
- ③ だれもができる健康づくりに取り組み，健やかで生き生きと暮らせるまち「まつなが」をめざして，健康増進に努めます。

◇ 主な事業の展開方向

| キーワード | 事業の展開方向 |
|----------------|---|
| 高齢者・障がい者 支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者や障がい者が気軽に集まり，語り合える場づくりに努めます。 ・ 世代間交流事業を企画し，相互理解，生きがいにづくりに努めます。 ・ 高齢者の孤立防止のため，見守り活動に努めます。 |
| 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化，核家族化する社会環境の中で，子育てについて話し合ったり，相談したりできる場をつくり，子育て支援に努めます。 |
| 健康づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ウォーキングマップ」を活用した健康ウォーキング大会を実施し，健康づくりに努めます。 ・ 気軽にできる体操を日常生活に取り入れ，健康増進に努めます。 |

◇ 具体的な事業と役割分担およびスケジュール（○は事業開始時期 →は既に実施中）

| 事業種目 | 具体的な事業名 | 役割分担 | | スケジュール | | |
|-----------------------|-------------|-------------|----|--------|----|----|
| | | 主管団体 | 協働 | 短期 | 中期 | 長期 |
| 高齢者・障がい者の 生きがいにづくり | 高齢者いきいきサロン | 自治会 | | | | → |
| | 地域ふれあいサロン | 自治会 | | | | → |
| | シニアボランティア事業 | 福祉を高める会 | | ○ | | → |
| | 世代間交流事業 | 福祉を高める会 | | | | → |
| 高齢者・障がい者 安心支援 | 支援ボランティア登録 | 民生児童委員協議会 | | ○ | | → |
| | 見守り活動 | 民生児童委員・福祉 | | | | → |
| | 介護講座 | 福祉を高める会 | | ○ | | → |
| | やさしいまちづくり講座 | まちづくり | | ○ | | → |
| | 要支援者避難支援活動 | 自主防災・民生児童委員 | | | | → |
| 子育て支援 | スマイルキッズ | まちづくり | | | | → |
| | 子育てママ支援事業 | まちづくり | | | | → |
| 健康づくり | 健康ウォーキング | 公衆衛生推進協議会 | | | | → |
| | みんなで体操 | 公衆衛生推進協議会 | | ○ | | → |
| | 健康講座 | 公衆衛生推進協議会 | 行政 | | ○ | → |

安心・安全な環境整備

～ 安心・安全なまち「まつなが」を ～

◇ 基本的な視点

- ① 交通事故や犯罪を未然に防ぎ、安全かつ安心して暮らせる地域をつくるため、行政や関係団体と連携して事故防止や防犯の意識高揚に努めます。
- ② 災害時要支援者の避難訓練を含めた自主防災訓練を展開し、自然災害の発生時、避難行動要支援者が安心して暮らせるまちづくりに努めます。

◇ 主な事業の展開方向

| キーワード | 事業の展開方向 |
|-------|---|
| 交通安全 | <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の危険箇所の点検及び見直しを行い、通学時の児童の安全確保に努めます。 ・自転車も車両であることの啓発活動を実施し、自転車の事故発生防止に努めます。 ・交通道德の啓発活動を行い、さらなる安全意識の向上に努めます。 |
| 防犯 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会内でのコミュニケーションを密にし、隣人とのつながりを深めつつ、防犯に努めます。 ・青少年の健全育成と犯罪の予防ならびに子どもの安全保護に努めます。 ・学区内での犯罪発生状況を把握し、それらの犯罪抑止に対する啓発活動に努めます。 |
| 防災 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災体制の組織の充実を図り、運用に努めます。 ・行政や各種団体と協力して災害時の備品整備に努めます。 ・避難場所と経路の安全を確認し、各自治会での避難体制の確立に努めます。 |

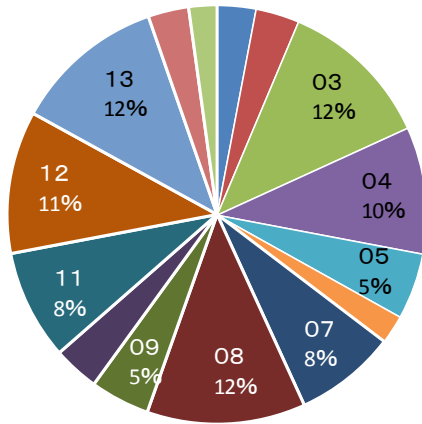
◇ 具体的な事業と役割分担およびスケジュール（○は事業開始時期 →は既に実施中）

| 事業種目 | 具体的な事業名 | 役割分担 | | スケジュール | | |
|--------|-------------------|----------|--------|--------|----|----|
| | | 主管団体 | 協働 | 短期 | 中期 | 長期 |
| 交通安全活動 | 交通安全運動員の充実 | 安全協会 | 警察署 | | | → |
| | 大人と子どもの交通安全教室 | 安全協会 | 警察署 | | ○ | → |
| | 通学路の見直し | PTA | 行政・警察署 | | | → |
| 防犯活動 | 防犯・夜間・ウォーキングパトロール | 防犯組合・青育協 | 警察署 | | | → |
| | こども110番の家 | 青育協 | 行政 | | | → |
| | 安全推進員の充実 | 防犯組合 | | | | → |
| 防災活動 | 避難場所・経路の確認 | 自主防災 | 関係機関 | | | → |
| | 災害時備蓄品の充実 | 自主防災 | 行政 | | | → |
| | 自主防災訓練の実施 | 自主防災 | | | | → |
| 啓発活動 | 交通安全意識の高揚 | 安全協会 | 警察署 | | | → |
| | 防犯意識の高揚 | 防犯組合 | 警察署 | | | → |
| | 防災意識の高揚 | 自主防災 | 関係機関 | | | → |

資料

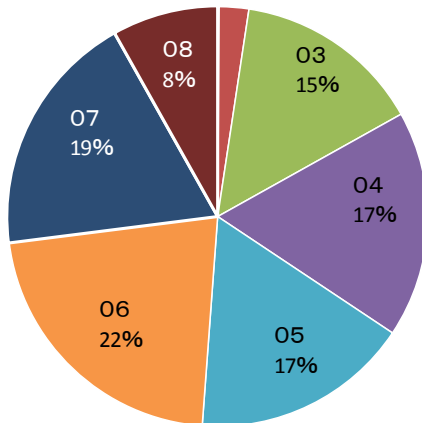
まちづくりアンケート集計

設問01:あなたのお住まいは



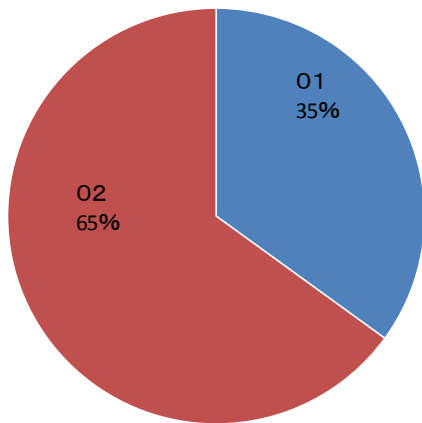
- 01: 南上之町、北上之町、郷倉、天神
- 02: 中之町、下之町、明神
- 03: 中浜、判屋、東朝日、西朝日
- 04: 神島、南浜見、西浜見、新興、浜見
- 05: 駅南、栄町、丸山
- 06: 駅前西、駅前中、駅前東
- 07: 南亀鶴、北亀鶴
- 08: 徳島、今津島
- 09: 東蓬萊、西蓬萊
- 10: 船町・増川
- 11: 小代連合、末広連合
- 12: 南松永1-1、1-2、1-3
- 13: 南松永2-1、2-2、2-3
- 14: 南松永3-4
- 15: 自治会名がわからない

設問02:あなたの年齢は



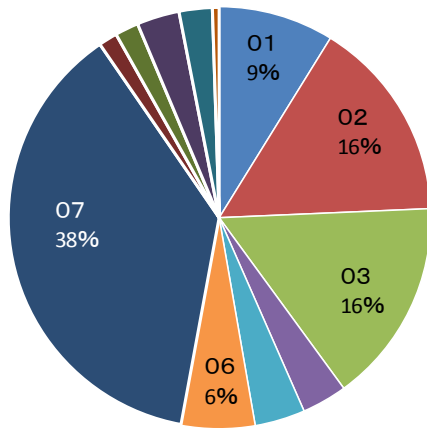
- 01: 20歳未満
- 02: 20歳代
- 03: 30歳代
- 04: 40歳代
- 05: 50歳代
- 06: 60歳代
- 07: 70歳代
- 08: 80歳以上

設問03:あなたの性別は



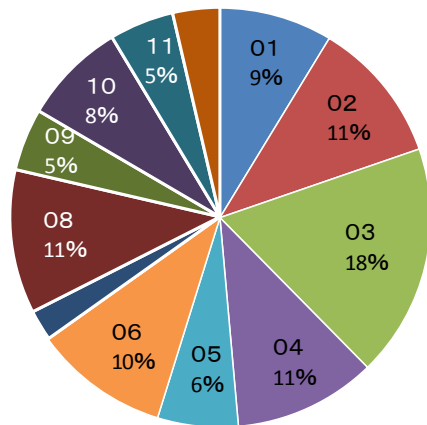
- 01: 男
- 02: 女

設問04: 地域で住みやすいと感じること



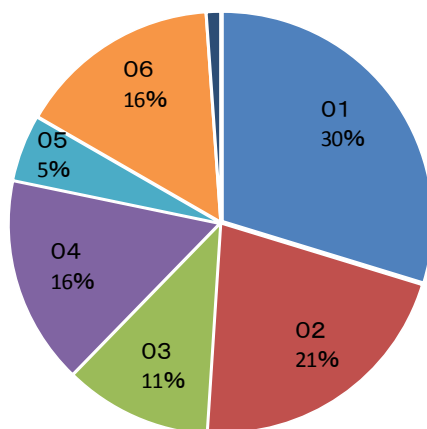
- 01: 自然環境
- 02: 近所づきあい
- 03: 道路交通環境
- 04: 防犯や防災
- 05: 子育てや教育環境
- 06: 医療や福祉
- 07: 日常生活の利便性
- 08: 高齢者や障がい者の暮らし
- 09: 文化・スポーツ活動
- 10: 住民参加型の行事
- 11: 郷土の伝統文化の継承
- 12: その他

設問05: 地域で住みにくいと感じる事



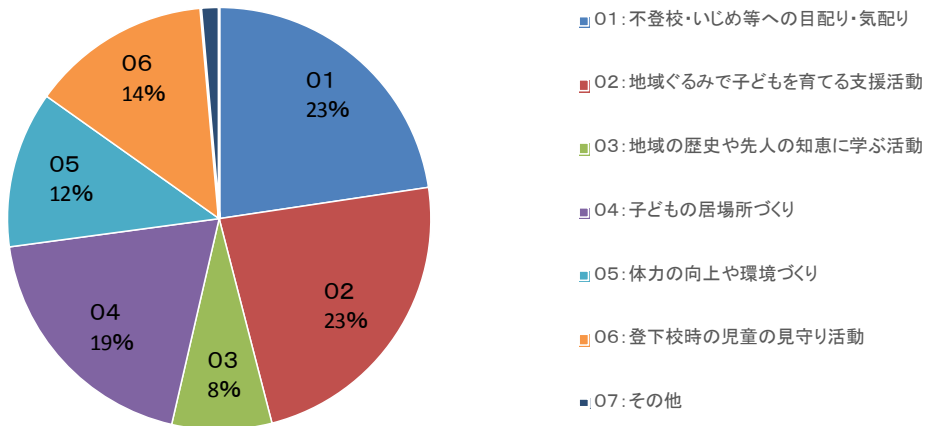
- 01: 自然環境
- 02: 近所づきあい
- 03: 道路交通環境
- 04: 防犯や防災
- 05: 子育てや教育環境
- 06: 医療や福祉
- 07: 日常生活の利便性
- 08: 高齢者や障がい者の暮らし
- 09: 文化・スポーツ活動
- 10: 住民参加型の行事
- 11: 郷土の伝統文化の継承
- 12: その他

設問06: 安心・安全なまちづくりについて地域が力を入れたらよいこと

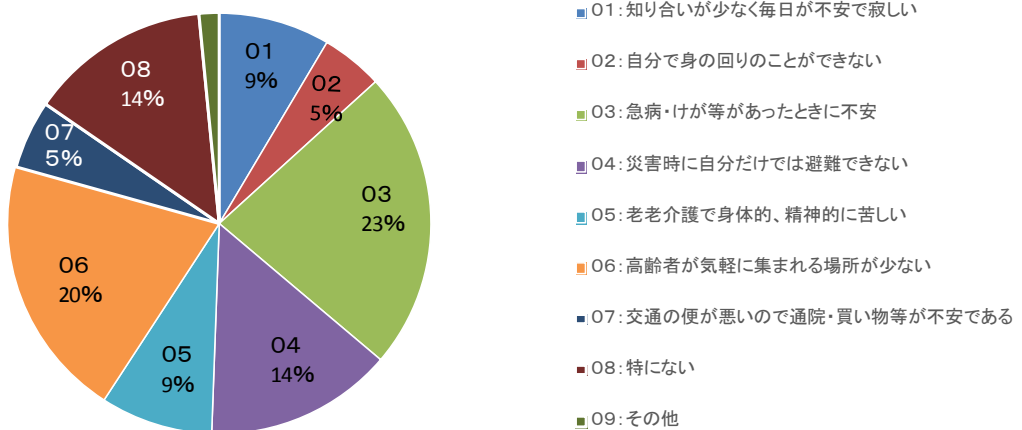


- 01: 子どもや高齢者の交通事故防止の啓発活動
- 02: 安心して通学できる環境づくり
- 03: 災害時の避難訓練
- 04: 災害時要援護者の避難支援体制の構築
- 05: 振り込め詐欺にあわないための啓発活動
- 06: 隣近所のきずなを深めるための啓発活動
- 07: その他

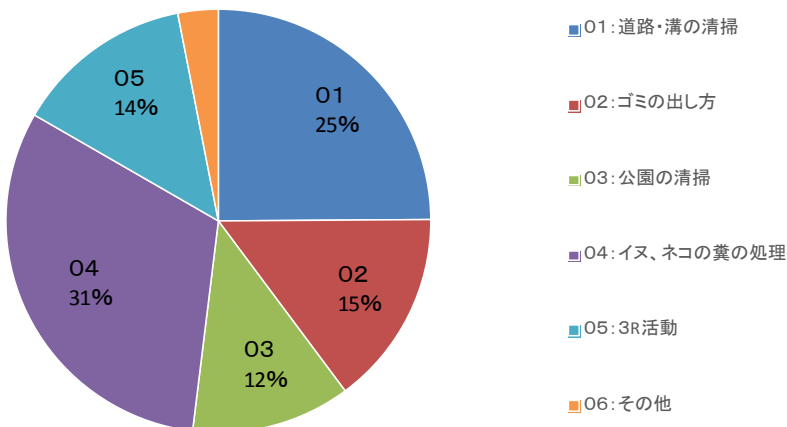
設問07: 子どもに対して地域が力を入れたらよいこと



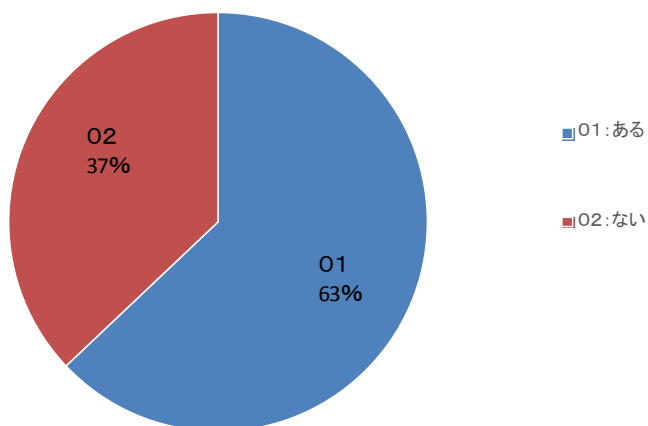
設問08: 高齢者の日常生活において課題があること



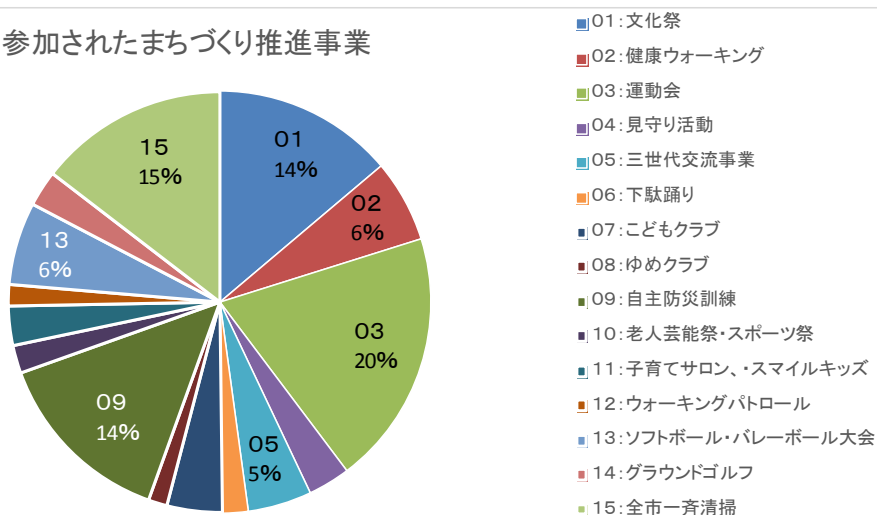
設問09: 美しいまちづくりについて地域が取り組んだらよいこと



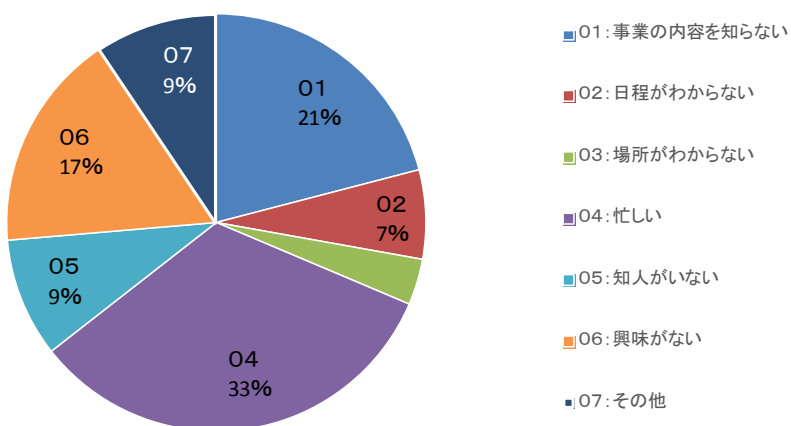
設問10: まちづくり推進事業に参加したことがありますか



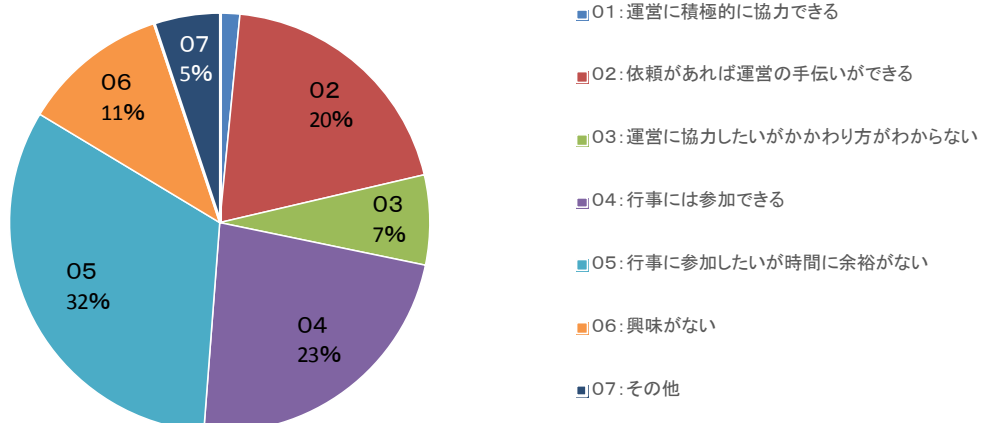
設問11: 参加されたまちづくり推進事業



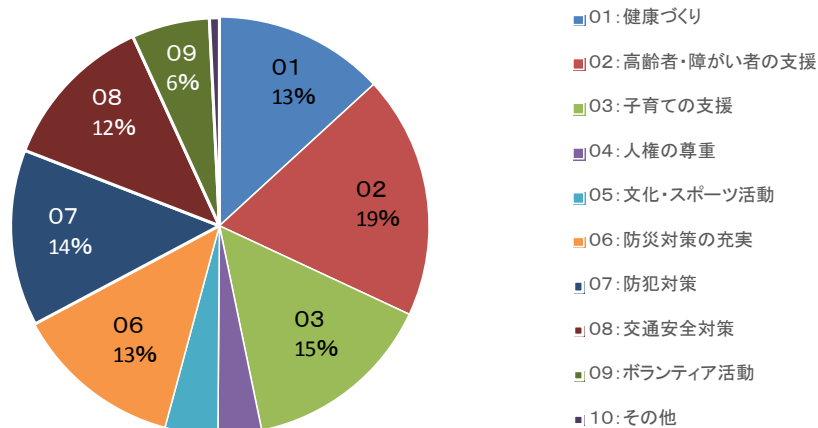
設問12: 参加されなかった理由



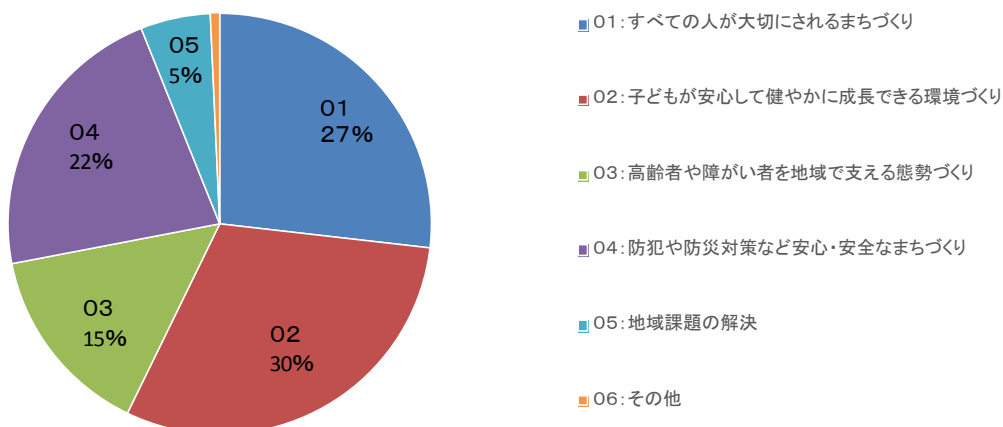
設問13: まちづくり推進事業であなたができること



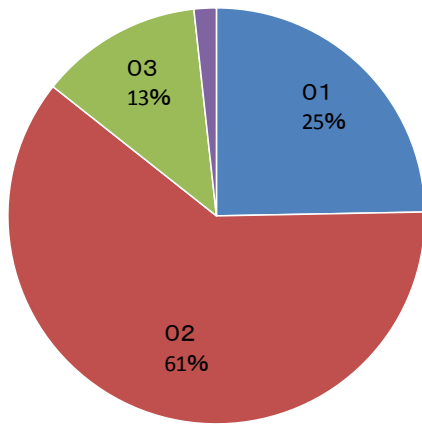
設問14: まちづくりで力を入れて進めていく必要があること



設問15: まちづくり交流会で学習内容として取り上げてほしいこと

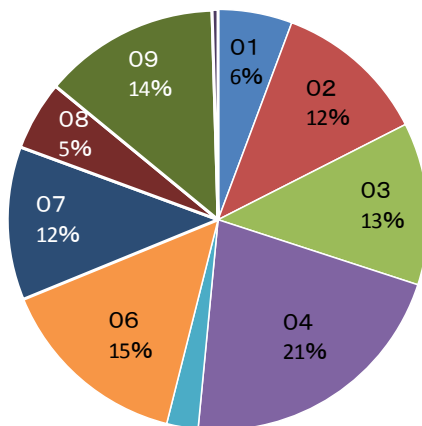


設問16: 人材の確保によい方法



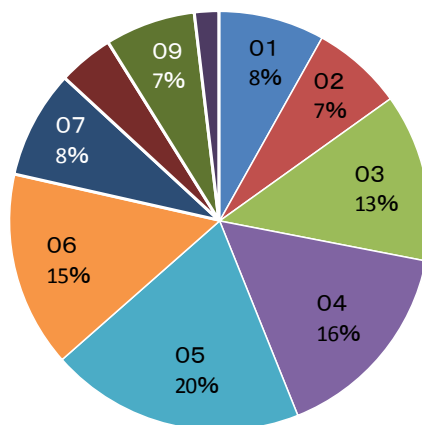
- 01: 自治会より適任者を推薦
- 02: ボランティアの募集
- 03: 各種団体より選出
- 04: その他

設問17: 将来「どのようなまちであってほしいか」



- 01: 人権を大切にするまち
- 02: 健康づくりと福祉が充実したまち
- 03: にぎわいとやさしさあふれるまち
- 04: 安心・安全、災害に強いまち
- 05: 歴史と文化の香り漂うまち
- 06: 安心して子育てができるまち
- 07: 高齢者や障がい者などにやさしいまち
- 08: 地域活動、ボランティア活動が活発なまち
- 09: あいさつが聞こえるまち
- 10: その他

設問18: 将来像を達成するために必要な事業



- 01: スポーツなど健康増進事業
- 02: 盆踊り大会・文化祭などの文化事業
- 03: 交通事故防止や防犯事業
- 04: 高齢者や障がい者への支援事業
- 05: 安全や安心の見守り事業
- 06: 子育て支援事業
- 07: 環境保全や環境美化事業
- 08: 伝統文化の継承事業
- 09: 防災意識啓発事業
- 10: その他

まちづくりアンケート 記述欄意見 〈キーワード別〉

教育

〈子どもへの指導〉

- ・あいさつ運動をする。(大人から子どもたちに声をかけることが大切。知らない人に声をかけられると、無視する環境が当たり前にならないように)
- ・子どもにより悪いをきちんと伝える。(大人も子どももマナー、モラルを守る)
- ・非常識な行動に対して指導する。(二人乗り、たばこ、服装など大人が注意する)
- ・夕方5時に松永地区全体に音楽を流してほしい。(子どもたちに帰宅時刻を知らせる)

〈子育て支援〉

- ・仕事が終わるまで子どもを見てくれる場所がほしい。
- ・小学校4年生より学童保育がないので、長期休暇時、子どもを預かってもらえる場所がほしい。
- ・障がい児を育てている保護者の交流の場がほしい。相談事業等の支援をしてほしい。
- ・読み聞かせ、保育ママさんを充実させる。

環境

〈公園・遊び場〉

- ・公園・遊び場、憩いの場を整備する。(遊具、トイレの清掃、芝生広場、緑の多い公園)
- ・公園を清掃する。子どもたちと一緒に清掃日を決めて清掃活動を行う。
- ・本郷川河川敷を整備してランニングコースを作る。(環境美化と両立できるのでは)

〈犬・猫問題〉

- ・ペットの飼育マナー(犬、猫の糞の処理)を啓発する。(マナー教室の実施)
- ・野良犬、野良猫問題(糞尿の問題、子どもたちの安全、餌を与える人への対応)

〈騒音・臭い・煙問題〉

- ・近隣工場、作業所の騒音 臭い 煙
- ・日常的な騒音(コンビニ、バイク、車、学生アパートの昼夜を問わない騒音等)
- ・ごみの焼却 野焼き問題(臭いと煙)

〈清掃活動〉

- ・モラルの向上(ごみの投げ捨て、たばこの吸い殻ポイ捨て)
- ・ごみのポイ捨て禁止条例を作ることへの働きかけ(すでに条例は制定されている)
- ・クリーク、川、歩道、地下道の清掃 自宅前道路の日常的な清掃
- ・アパート駐車場および周辺の清掃 空地管理者による除草作業(管理者責任)
- ・テナントの方にも町内清掃参加依頼
- ・蚊の発生への対応

〈緑化・花づくり〉

- ・緑化運動 入川跡地の緑化活動 その後の管理方法支援。
- ・花壇の整備 草取り(各家庭で、地域で)

- ・ばらの植栽
- ・通学路を美しく楽しく（花植え等）

〈 浸水問題 〉

- ・排水施設の完備（溝の修理 大雨による浸水）

活 力

- ・伝統文化の継承に関して非常に意識が低い。子どもの教育面からも、伝統文化の掘り起こしをすべきだと思う。
- ・下駄，塩，畳表の歴史を残す。
- ・文化的，歴史的なものを含めた講座（講師による）の年間スケジュールを立ててほしい。
- ・下駄おどり普及のため毎年コンテストを。
- ・夏休み以外にも，ラジオ体操など地域で取り組む。
- ・いのこ行事の活気がなくなった。子ども主体の本来あるべき姿が失われたのでは。
- ・松永駅前（北）の再開発
- ・羽原川沿いの住宅は松永の目玉となるスポット 若い人が空き家でショップを開くとか，芸術家を招くとかするとよい。
- ・松永にはちょっとした個展，展示のできる場所（気軽に借りられるスペース）がない。はきもの博物館，コミュニティセンターの利用を考えてはどうだろうか。
- ・桜公園の桜の手入れをし，大きく育てて松永の名所にする。きれいな町にする。
- ・歳時記祭り

例 3月 家庭に眠っている雛人形を出し合い，承天寺の石段に並べ，幸せを祈る

5月 端午の節句 鯉のぼりを潮崎神社対岸になびかせ子どもの成長を祝う

9月 町民運動会 アトラクション松中ソーラン踊りを依頼する

10月 秋祭り 本庄神社で相撲大会

- ・町内には外国の人がたくさんいる。その人たちと話ができればよい。
- ・はきもの博物館跡地を町で活用してみてもどうだろうか。
- ・東，西，南松永を中心に自治会が人間関係を強める対話集会を開き，意見交換をすること。たとえば，東一西，西一南，東一南，自治会の活動の交流を定期的に行うこと。

〈 若い力を 〉

- ・若い人達がかんばり活性化。福山大学の学生の協力を得ての行事があってもよい。
- ・若者が事業に参加できる環境づくり。
- ・福山大学の学生達と意見交換ができればいいと思う。老若男女を問わずお互いが学び合えたら互いのためになると思う。

福 祉

〈 高齢化 〉

- ・高齢者が気軽に集まれる場所づくり
共同浴場などを併設した公共施設の充実
入川の埋め立て地に少し大きめの休憩所

コミュニティセンターの開放

コミュニティーカフェなど気軽に参加できる企画

- ・高齢者や障がい者が困った時すぐ来てもらえるボランティア名簿の作成
- ・困ったときの助け合いが気軽にできればと思う。困った時に頼れる人がほしい。(日常生活支援)
- ・高齢者で一人暮らしの方の見守りや声かけなど(見回り隊がある学区も)

〈 地域参加・活動 〉

- ・高齢者の地域活動，ボランティア活動への参加(溝掃除，草刈り等)
- ・高齢者が運動できる場所がほしい。
- ・高齢者がもっと勉強する所がほしい。(コーラス，手芸など)
- ・老人パワーで若者を助ける活動。
- ・高齢者とのふれあい活動(保育園等で園児と高齢者が集い，いろいろな催しをどんどん進める)

安心・安全

〈 交通・危険箇所 〉

- ・道路の整備(危険箇所に信号機設置，消防署南側道路の拡幅，舗装修理，歩行者の安全確保，自転車で走りやすい道づくり)
- ・近くにダンプカーの駐車場があり，危険。油膜，砂ぼこりもある。
- ・跨線橋の開通で自動車の南北交流は好転，改善したが，自転車，高齢者には不便
- ・路上駐車危険性啓発(迷惑駐車が多数)
- ・通学路の整備(いこうさんの店の前の横断歩道等危険箇所点検)
- ・子どもに道路で遊ばないことを指導
- ・高齢者の交通ルール遵守とマナーの徹底

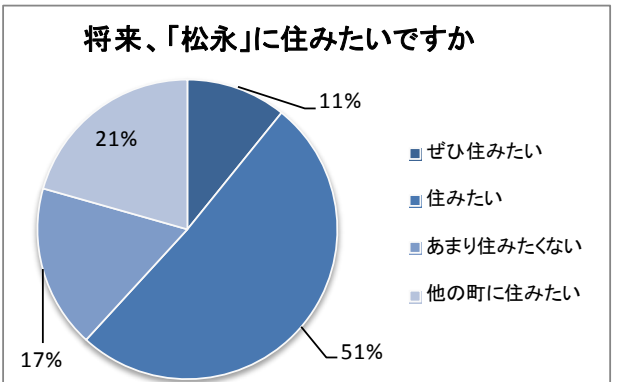
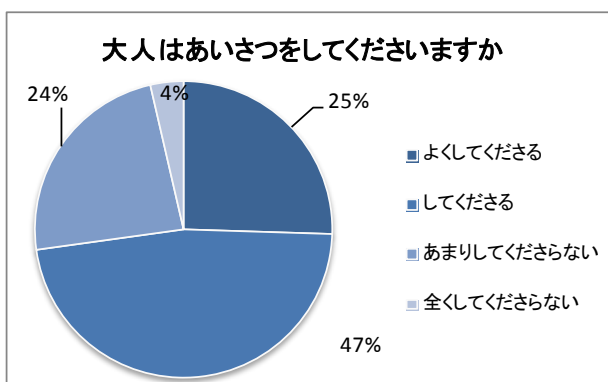
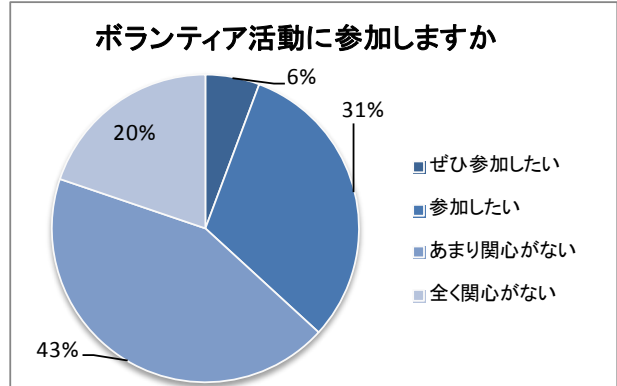
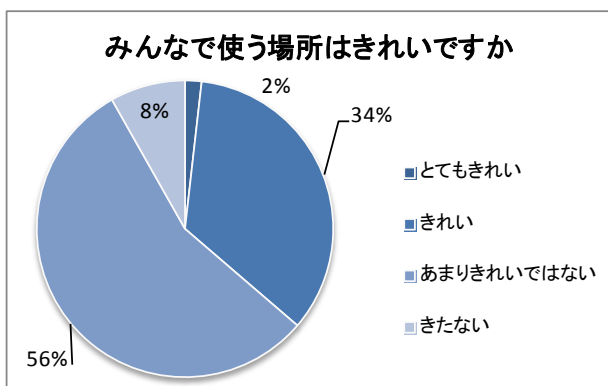
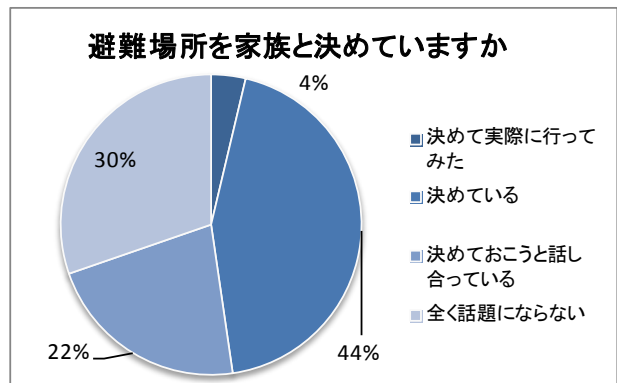
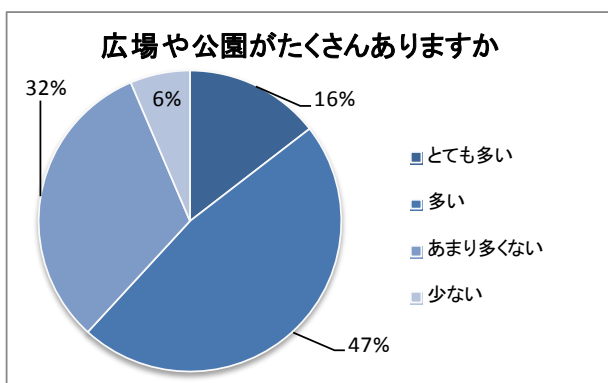
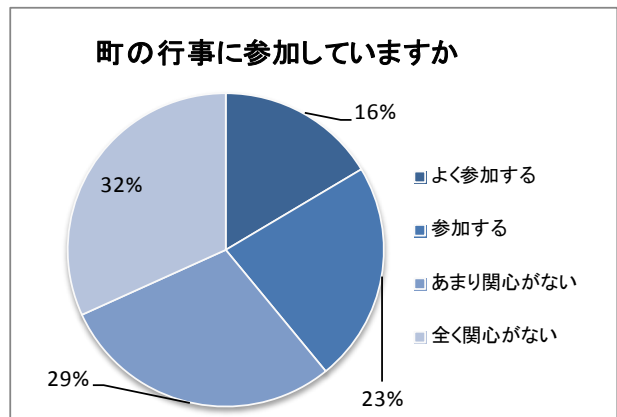
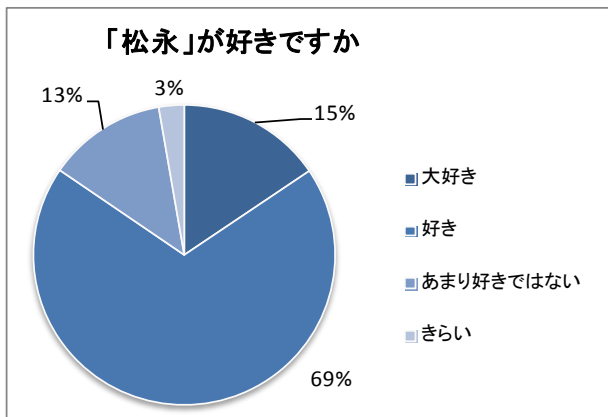
〈 防犯・防災 〉

- ・街灯，防犯カメラ等の設置
- ・狭い路地が多く不安
- ・高齢になると遠くへ逃げられないので，近くの安全な場所への避難訓練の実施
- ・隣近所の連携の大切さ 自然災害時の対応強化(分かりやすく，親切に)
- ・災害時避難場所の伝達(中学校は低地にあるので，避難場所として不安)
- ・屋内にいと防災のサイレンは聞こえない。
- ・不審者への対応の仕方(子どもたちへの教育と大人たちの対応)
- ・情報提供(回覧板の利用) 振り込め詐欺のことももっと世間に知らせてほしい。



まちづくり 児童アンケート

対象：松永小学校6年生児童



まちづくり 児童アンケート
【松永の自慢 ベスト10】

| | |
|----|--------------------------------|
| 1 | 店が多い (コンビニ スーパー 書店) |
| 2 | 公園が多い |
| 3 | 下駄が有名 |
| 4 | 災害が少ない |
| 4 | 自然が豊か (緑 山 海 空気) |
| 5 | 行事が多い |
| 6 | ゲタリンピック |
| 7 | 大人がやさしい |
| 8 | 塩田があった |
| 8 | ばら園がきれい |
| 8 | 公共施設が多い (図書館 西部市民センター) |
| 9 | 安心・安全な町 (パトロールしている 悪い人がいない) |
| 10 | あいさつ |
| 10 | にぎやかで楽しい |

対象 : 松永小学校 6年生児童
【こんな町にしたいな ベスト5】

| | |
|---|--|
| 1 | 町をきれいにしたい ポイ捨てがない町 クリークをきれいに |
| 2 | 広い公園がほしい 遊具の整備 |
| 3 | 公園をきれいにしたい ごみ箱がほしい トイレをきれいに |
| 4 | 海をきれいに すんだ海 |
| 5 | 災害のない町 地盤を強く 海より高く 津波に流されない建物をたくさん造る |
| 5 | もっと楽しく明るくして「松永っていいところ だなー」と言ってもらえる町にしたい |



松永学区 まちかどウォッチング



▲ 防災行政無線

☺ 災害時避難所

- ・松永公民館
- ・松永小学校
- ・松永コミュニティセンター
- ・松永中学校
- ・イズミゆめタウン

松永まちづくり計画策定までの経緯

| 年度 | 月 | 日 | 会 議 等 | 内 容 |
|-----------------|----|-------------|--------------------|--|
| 2013 (平成 25) | 11 | 22 | まちづくり推進委員会 | 計画策定委員の選出 |
| | 12 | 20 | 第 1 回 策定委員会 | |
| | 1 | 20 | 第 2 回 策定委員会 | 住民への周知方法について検討 策定だよりの発行を決定（3回） |
| | 2 | 6 | 第 3 回 策定委員会 | 策定だよりの内容検討 |
| | | 24 | 第 4 回 策定委員会 | 策定だよりの内容検討 |
| | 3 | 7 | 第 5 回 策定委員会 | 策定だより案完成（3/20 発行予定） 2014 年度策定に向けた見通し立て まちづくりアンケート（手法・対象）検討 |
| | | 19 | 第 6 回 策定委員会 | まちづくりアンケート検討 |
| 20 | | | 「まちづくり知ってよ！ 第1号」発行 | |
| | 25 | 第 7 回 策定委員会 | まちづくりアンケート検討 | |
| 2014 (平成 26) | 4 | 5 | | 「まちづくり知ってよ！ 第2号」発行 |
| | | 21 | | 「まちづくり知ってよ！ 第3号」発行 |
| | | 22 | 第 8 回 策定委員会 | まちづくりアンケートについて（内容・配布方法） |
| | 5 | 19 | 第 9 回 策定委員会 | まちづくりアンケートについて（内容・配布方法） |
| | | 23 | まちづくりアンケート 説明会 | 各自治会長，班長，各種団体を対象に説明会の実施 まちづくりアンケートの配布 |
| | 6 | 2 | 第 10 回 策定委員会 | 児童対象のまちづくりアンケート（内容）検討 |
| | | 9 | | まちづくりアンケート締切 |
| | | 16 | 第 11 回 策定委員会 | まちづくりアンケート集計方法の検討 |
| | | 30 | 第 12 回 策定委員会 | まちづくりアンケート集計方法の検討 |
| | 7 | 7 | 第 13 回 策定委員会 | まちづくりアンケート集計・分析 |
| | | 14 | 第 14 回 策定委員会 | まちづくりアンケート集計・分析 |
| | | 22 | | まちづくりアンケート集計速報を発行 |
| | | 24 | 第 15 回 策定委員会 | まちづくりアンケート分析，今後の方向性を検討 |
| | 8 | 4 | 第 16 回 策定委員会 | まちづくりアンケート分析 まちづくり計画の具体的展開を5分野に分けて検討 |
| | | 18 | 第 17 回 策定委員会 | 分野別の分析 |
| | | 25 | 第 18 回 策定委員会 | 分野別の分析 |
| | 9 | 1 | 第 19 回 策定委員会 | 分野別の分析 |
| | | 8 | 第 20 回 策定委員会 | ・アンケート分析 ・今後の方向性を検討 ・配布資料の検討 |
| | | 22 | 第 21 回 策定委員会 | 分野別の分析 |
| | | 29 | 第 22 回 策定委員会 | まちづくり計画の構成検討 |
| | | 10 | 6 | 第 23 回 策定委員会 |
| | 17 | | 第 24 回 策定委員会 | まちづくり計画の内容検討 （学区の概要，現状と課題，まちづくり計画） |
| | 27 | | 第 25 回 策定委員会 | まちづくり計画の内容検討 （学区の概要，現状と課題，まちづくり計画） |
| | 11 | 10 | 第 26 回 策定委員会 | まちづくり計画の内容検討 （まちづくり計画の具体的展開） |
| | | 17 | 第 27 回 策定委員会 | まちづくり計画の全体を検討，修正 |
| | | 26 | まちづくり推進委員会 | 計画(案)の提示・検討 （実施時期の提出依頼等） |

| 年度 | 月 | 日 | 会議等 | 内容 |
|-----------------|---|----|--------------|--|
| 2014 (平成 26) | 1 | 19 | 第 28 回 策定委員会 | まちづくり計画の内容検討 (実施時期提出状況の説明等) |
| | | 26 | 第 29 回 策定委員会 | まちづくり計画の内容検討 (現状と課題の追加事項検討及びレイアウト等) |
| | 2 | 2 | 第 30 回 策定委員会 | まちづくり計画の内容検討 (事業スケジュール及びレイアウト等) |
| | | 9 | 第 31 回 策定委員会 | まちづくり計画の内容検討 (まちづくり推進委員会へ向けて) |
| | | 20 | まちづくり推進委員会 | まちづくり計画の承認 |



まちづくり推進委員会



まちづくり計画策定委員会



松永学区まちづくり推進委員会名簿

| 役職名 | 名 前 | 所 属 |
|---------|---------|----------------------|
| 委 員 長 | 山 崎 廣 成 | 松永学区自治会連合会・松永学区自主防災会 |
| 副 委 員 長 | 松 原 弘 | 松永学区の福祉を高める会 |
| 副 委 員 長 | 細 川 絃 子 | 松永学区女性会 |
| 事 務 局 長 | 古 志 利 雄 | 松永学区自治会連合会 |
| 事務局次長 | 佐 藤 優 | 松永学区自治会連合会 |
| 会 計 | 藤 井 ひとみ | 松永学区自治会連合会 |
| 監 査 | 酒 井 賢 司 | 明るいまちづくり松永学区委員会 |
| 監 査 | 小 林 文 男 | 松永学区老人クラブ連合会 |
| | 山 崎 茂 光 | 松永学区青少年育成員協議会 |
| | 横 山 幸 枝 | 第 19 区民生委員児童委員協議会 |
| | 土利川 忠 | 松永学区体育会 |
| | 新 宅 能 之 | 福山西交通安全協会松永支部 |
| | 前 市 正 詔 | 松永学区公衆衛生推進協議会 |
| | 矢 田 和 宏 | 松永小学校 |
| | 浅 井 岳 | 松永小学校 P T A |
| | 松 岡 久 史 | 松永学区子ども会育成協議会 |
| | 井 上 政 弘 | 防火協会松永東支部 |
| | 武 井 逸 郎 | 防火協会松永西支部 |
| | 石 井 信 彦 | 松永学区防犯組合 |
| | 石 井 康 夫 | 松永学区在住行政職員会の会 |
| | 箱 田 満 | 松永公民館 |

松永学区まちづくり計画 策定委員名簿

| 名 前 | 所 属 |
|---------|--------------------|
| 山 崎 廣 成 | 松永学区まちづくり推進委員会委員長 |
| 古 志 利 雄 | 松永学区まちづくり推進委員会事務局長 |
| 箱 田 満 | 松永公民館館長 |
| 井 出 茂 | 栄町自治会 |
| 佐 藤 敬 子 | 今津島自治会 |
| 田 島 久美子 | 判屋自治会 |
| 山 脇 辰 成 | 南亀鶴自治会 |

松永生涯学習センター及び松永公民館の職員（計画策定の支援）

| 名 前 | 所 属 |
|---------|----------------------------|
| 小 川 雄一郎 | 松永生涯学習センター |
| 中 垣 友 里 | 松永生涯学習センター（ ～ 2014 年 3 月 ） |
| 岡 田 有 香 | 松永生涯学習センター（ 2014 年 4 月 ～ ） |
| 前 岡 麻 代 | 松永公民館 |
| 森 上 千 秋 | 松永公民館 |

